

©河北新報社 2014 (日刊)

河北新報

6月19日(木)

河北新報社

仙台市青葉区五橋1-2-28
(郵便番号 980-8660)

震災の記憶 後世に

21日トークイベント

阪神大震災(1995年)を題材にした小説を出版したの記録保存に力を注いだSF作家小松左京さんの遺志を受け継ぎ、東日本大震災の風化を防ごうと、ゆかりの作家ら3人によるトークイベントが21日、仙台市泉区の県図書館である。

作家の瀬名秀明さん、円山翠陵のペンネームで原発事故

を題材にした小説を出版した東北大学教授の円山重直さん、小松さんの元マネージャーで映画制作プロダクション代表の乙部順子さんが、小松作品への思いや、3・11の体験と作品への影響などを語る。震災の記憶を伝承する方策についても提言する。

仙台・県図書館

瀬名さんら出演

展「小松左京が遺(のこ)したものを開催している。トークイベントは午後1時開会。参加無料。要予約(定員200人)。県図書館のホームページ内の専用フォームなどから申し込む。

連絡先は県図書館企画協力班022(377)8444。

図書館では27日まで、特別